

ハローキャリアワーク通信

令和6年10月5日
教育総合センター
事業推進担当課



を考えて、自己紹介（つながり自己紹介）と絵しりとりを行いました。その後、昭和信用金庫の武藤様から、子どもたちが提案した「的当て」「落書き」「占い（ガチャガチャ）」「モグラたたきなどのゲームコーナー」「スライム（ゲーム）」の5つから採用できた（予算面などから）3つの「的当て」「落書き」「占い（ガチャ）」が伝えられ、子どもたちには、満足した様子が見られました。その後、それぞれの案を当

10月5日（土曜日）に昭和信用金庫からのオファーのあった「シモキタ三ツ星バザール2024」の第2回目が行われました。当日は全員が参加し、前回子どもたちが提案した5つの案の中から、昭和信用金庫が採用した3つの案が示され、より具体的に実施できるように話し合いながらまとめ、催しの準備をしました。開始にあたり教育委員会の担当者から前回の振り替えりと、欠席した子どものこと



日できるようにするために、教育委員会の担当者より「この3つを全員で担当するのか？各内容を分担する人を決めて行うのか」と持ち掛け、子どもたちに決めさせました。子どもたちは、「担当者を決めて進めていく」として、作業に入りました。その際、「来場した家族がより楽しめる」ようにするために「必要なことの準備」また、コーナーの看板の作成を行うことになりました。途中休憩を挟みながら2人1組になって、作業をしました。その中で、分からないことがあれば、武藤さんにできる

かの確認を取りながら進めました。特に「占い」では、おみくじ形式にして「大吉」「吉」「中吉」「小吉」「凶」として、それぞれに言葉を書きました。言葉の内容は当日の楽しみです。また、大吉には景品として「〇〇をつけたい」ということで、武藤さんに「大丈夫ですか？」と聞き、景品がつくことになりそうです。一方、「落書き」では、「直接紙に書くのか？」「台紙に書いて貼るのか？」考えていましたが、「付箋紙に書く」「直接書く」の両方を取り入れるようにしました。「的当て」は、年齢によつて的までの距離を考えました。また、得点に応じて、商品が得られるようになったとのことでした。





各内容を決めながらいよいよ「コーナーの看板」作りです。それぞれが思い思いに描き、2人で1つの看板を作るコーナーや一人一人が作り、2枚作成するところもありました。最後にそれぞれが決めたことを全員に伝え、振り返りをし終えようとしたところ、武藤様が昭和信用金庫で用意された「ガチャガチャ」を持ってきてくださり、試しに一人一人、行って終わりになりました。いよいよ次回は「シモキタ三ツ星バザール2024」当日になります。子どもたちの活躍が楽しみです。



